



オペラディナーコンサート V2 プログラム

平成 27 年 11 月 7 日（土曜日）18 時開演

いかりスーパー塚口店・ライクスホール

並河 寿美さん《ソプラノ》 中川 京子さん《ソプラノ》
安川 忠之さん《テノール》 井澤 章典さん《テノール》
迎 肇聡さん 《バリトン》 佐藤 明子さん《ピアノ》
高島 春樹さん《ピアノ》 植田 加奈子さん《司会》

～第一部～

ワイン&シャンパンで静かに聴き下されませ。

ピアノ伴奏 佐藤明子さん

○ドヴォルザーク作曲 オペラ「ルサルカ」より「月に寄せる歌」

ソプラノ 中川京子さん

水の世界の妖精・ルサルカの妖しい美しさと人間の男性に憧れる清らかな乙女心を描いた幻想的なオペラ。「月よ、少し立ち止まり、教えて下さい、どこにわたしの愛しい人がいるの？銀色に輝く月よ、その人に言って！わたしは両手で貴方を抱きしめると。あの人のところまで、遠く照らして下さい。月よ、消えないで、隠れないで下さい！」

○ドニゼッティ作曲 オペラ「愛の妙薬」より「人知れぬ涙」

テノール 安川忠之さん

19 世紀のスペインの小さな村。地主の娘アディーナに恋をした若い農夫ネモリーノが惚れ薬を探しているうちに、いかさま薬売りに騙されて軍隊に入隊してその契約金で安物ワインを買わせられ彼女に飲ませます。いろいろ経緯があって二人は結ばれるのですが、このネモリーネが歌う哀愁を帯びたアリアは名曲中の名曲です。

○ヴェルディ作曲 オペラ「アイダ」より「勝ちて帰れ」

ソプラノ 並河寿美さん

エジプトとエチオピアが戦争。エチオピア王女・アイダはエジプト軍に捕えられ身分を隠したまま捕虜となっている。エジプト軍の総大将・ラダメスは奴隷になったアイダに惚れ、敵を破った手柄にアイダを妻にもらおうと期待に胸をふくらましています。わが祖国や王であるわが父を討伐する総大将・ラダメスに「勝ちて帰れ！」と叫んだアイダはわが身を責め、板ばさみに苦しみます。

○ビゼー作曲 オペラ「カルメン」より「闘牛士の歌」

バリトン 迎肇聡（むかいただとし）さん

舞台はスペイン・セビリア。奔放な女カルメンの魅力に負けた騎兵隊長ドン・ホセは婚約者ミカエラがいるにもかかわらず道はずすはめに。そこへ花形闘牛士エスカミーリョがカルメンに近づく。「闘牛場は満員・大歓声・勇者の祭だ！闘牛士よ、恋がお前を待っている！闘牛場は突然静まりかえる！牛が突進する！体に突き刺さった槍を揺らせながら！場内は血だらけ！闘牛士よ、恋がおまえを待っているぞ！」と歌う。

○ブッチーニ作曲 オペラ「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」～「かわいい坊や」

ソプラノ 並河寿美さん

長崎に駐留中のアメリカ海軍士官ピンカートンは、実家が没落し芸者になった蝶々さんを身請けし結婚します。やがてピンカートンは必ず戻ってくるという言葉を残して祖国へ帰ります。身ごもっていた彼女はやがて男の子を産みます。3年以上待っても音沙汰のない夫を信じその帰りを待ち続けます。長崎の港の見える場所で歌います。

「ある晴れた日に水平線の向こうから、あの人の船が入ってくるでしょう。どんなに待っても辛くないのよ。あの人はここに帰ってきて下さるわ。」やがてピンカートンはアメリカ人の妻を連れて戻ってきます。しかも蝶々さんと別れて男の子を引き取ると言います。周囲もそれを奨めます。絶望した蝶々さんは誇りを持って自殺します。

～乾杯～

ヴェルディ作曲オペラ「椿姫」より「乾杯の歌」

ソプラノ中川京子さん&テノール井澤章典さん

～食事開始～

～第二部～

○イタリア・カンツォーネ等を中心に男性歌手競演！ ピアノ伴奏 高島春樹さん

「オーソレミオ」、「フニクリフニクラ」、「サンタルチア」、「帰れソレントへ」、

「わすれな草」、「カタリカタリ」、「忘れな草」、「誰も寝てはならぬ」、「マッティナータ」など

テノール安川忠之さん、テノール井澤章典さん、バリトン迎肇聡さん

○「ベサメムーチョ (kiss me a lot)」、「ジョソイマリア」

中川京子さん、ピアノ伴奏 高島春樹さん

○ヴェルディ作曲オペラ「椿姫」より「あゝ、そはかの人か～花から花へ」

並河寿美さん、ピアノ伴奏 佐藤明子さん

[お詫び]

本日、宝塚歌劇スターも数名応援出演の予定でしたが、舞台稽古中転倒骨折の為、出演不能となり、代わりにテノール井澤章典さん、ピアノ伴奏多田恵美子さんの代わりに高島春樹さんに出演していただくことになりましたので御了承下さいませ。

又、座席順につき失礼の段、お許し下さいませ。

